

弥治郎こけし村リノベーション 事業について

佐藤 秀行



〔質問〕地方創生拠点整備交付金事業・弥治郎こけし村リノベーション事業にかける市長の思いを伺う。

〔答弁〕【市長】こけしの伝統技術を後世に引き継ぐことと地場産業の振興を目的に、平成6年に弥治郎こけし村を整備し、施設の運営に当たってきた。弥治郎こけし村は地域ブランド化の確立のための施設、地域資源を結び結節拠点へと進化させ、白石市の魅力を発信する拠点となつてほしいと考えている。

〔質問〕分校4校が休校状態にある。地元自治会が維持管理のため、草刈り等を年数回行っているが、今後高齢化が進み、その負担はさらに大きくなっていく。このことについての見解を伺う。

〔答弁〕【教育長】自治会長からは、草刈りなどが大変であると聞いている。また、樹木が非常に多過ぎてこの処理等も何らかの形で考えなければいけない。今後の課題として捉えていく。

〔質問〕休校している4分校の今後の活用、対応等について伺う。

〔答弁〕【教育長】地域の方々と話し合いを持って廃校措置に持つていかねばならない。その後の活用については、今後、市長部局と検討しながら方針を出していくことになる。

◎白石川緑地公園陸上競技場について

〔質問〕河川敷に設置されているトイレ2基について、利用者からもきれいな新しいトイレを望む声が多く聞かれる。改築等について見解を伺う。

〔答弁〕【市長】当面は必要に応じて修繕を行う。今後、外観の塗装を検討するとともに、移動が可能である衛生的な簡易水洗トイレの更新を検討したいと考えている。

〔質問〕毎年、白石刈田地区中学校陸上大会が、トラックが土質のこの競技場で行われる。生徒の記録の向上、先生方の運営上の負担軽減等のため、全天候舗装型の他の競技場の開催を考えてみてはどうか所見を伺う。

〔答弁〕【教育長】本市に公認の陸上競技場があるので、他の市、地区で開催することは考えられない。教育的な効果もあるので、この競技場で続けてほしいと思う。

公民館単位のまちづくりについて

松野 久郎



〔質問〕白石市全体が元気に、そして人口減少に歯止めをかけるには、各地域が元気になることが重要と考える。今後の公民館単位のまちづくり等について、先日、白石笑顔未来塾が開催され、大好評だった。今後も開催の予定があるのか伺う。

〔答弁〕【市長】大変好評を得たので、第2回目として、8月27日、日曜日に開催することが決定している。

〔質問〕開催に当たっては、グループ討議もあると思うので、地区ごとにまとまった席を設けてはいかがか伺う。

〔答弁〕【市長】地区ごとに議論を深めるためにも、次回開催時には、

そういったことにも配慮しながら、グループ配置を検討していく。

〔質問〕各地区のまちづくりの取り組みが地方創生の対象事業となる事業として、交付金の確保等も可能にする仕組みが必要と考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕【市長】地方創生推進交付金の交付対象に小さな拠点整備事業がある。各地域の皆さんの力を主体的に発揮していただき、交付金の活用等による持続可能な地域の実現を目指したいと考えている。

〔質問〕本市のまちづくり交付金制度は、前年度の2月までに年1回の申請となっているが、年度途中でもタイムリーに受け付けるよう制度運用のあり方を変更してはどうか伺う。

〔答弁〕【市長】まちづくり交付金は、年度内に事業が終了するものが対象であり、4月1日から事業が開始できるような配慮している。予算措置している交付金が有効活用されるよう、さまざまな角度から検討していく。

◎学校給食について

〔質問〕学校給食について、食物アレルギーへの対応状況や児童・生徒の評判、食の安全への取り組みを伺う。

〔答弁〕【教育長】食物アレルギー対応については、現在対象となつている児童は3名で、児童・生徒の評判は非常にいいと思つている。食の安全等についても、業者と密に連絡をとり確認を行っている。

◎ふれあいサロン事業について

◎小学生学力調査について

9